

利用者懇談会報告(令和 6 年度 9 月)

【柳沢公民館】

開催日時	令和 6 年 9 月 28 日 (土) 10 時～12 時
会 場	柳沢公民館 視聴覚室
参加者数	33 団体、29 人 公民館運営審議会委員 2 人 (社会教育関係団体、学識経験者) ※略称「公運審委員」 職員 11 人 (公民館長、係長、係員 5 人、公民館専門員 4 人)
今回のねらい	・参加者が社会教育機関としての公民館についての理解を深める機会とする。 ・参加者が公民館運営審議会に対する理解を深める機会とする。 ・市民と共同で実施している主催事業を紹介する。 ・公民館利用にかかる意見・要望を把握する。 ・来年度事業に対する意見・要望を把握する。 ・参加者、公運審委員、職員の三者が懇談し、交流する。
次 第	1 館長あいさつ、職員紹介、公運審委員紹介 2 公民館について (1) 公民館からのお知らせ (2) 施設の利用について (3) 公民館はどういうところ？ - ア 市民参加で設計された柳沢公民館 - イ 公民館運営審議会とは？ - ウ 公民館主催事業について 3 団体・サークルの活動に関して 4 グループに分かれて懇談
公民館利用等に関する公民館からのお知らせ等	1 公衆無線 LAN の設置について ロビーで公衆無線 LAN を利用できるようになった。 2 視聴覚室の映像・音響機器について 視聴覚室内で映像・音響設備の操作ができるようになった。使用したい場合は、公民館に連絡していただきたい。 3 備品使用申請書兼借用書について 書式を変更する。 4 クールシェアスポット、クーリングシェルターについて 公民館は、クールシェアスポット、クーリングシェルターに指定された。
施設の利用について	1 災害が発生したら 火災と地震、それぞれの対応について説明 2 部屋の当日貸し出しについて 3 打ち合わせを目的とした印刷室の使用について 4 施設利用にあたってのお願い

公民館運営審議会とは？	1 公運審委員（学識経験者）より、公民館長の諮問機関であり、住民参加の制度である公民館運営審議会が設置されていることの意味について説明。 2 公運審委員（社会教育関係団体）より、「公運審紹介」を用いて、第12期公運審の活動について報告。また、西東京市公民館の活動を次の世代へつないでいくために、公民館を応援したい市民だれもが参加できる、公民館と市民をつなぐしくみ「公民館サポーター」活動を始めたいと考えていることを紹介。
公民館主催事業について	1 公民館が行っている事業について 公民館市民企画事業と「まちなか先生」を紹介 2 令和6年度～令和10年度事業方針について 基本理念、基本目標、基本方針を紹介 3 令和6年度公民館主催事業について 基本方針ごとにいくつかの事業をスライドを用いて紹介 (1)開かれた公民館 障害者学級「くるみ学級」、中学生・高校生対象講座「K-POPを踊ろう！」、子育て中の外国人女性のための日本語講座 (2)問いかける公民館 地域づくりを考える講座「なぜ子どもたちはうつむいて登校するのか」 (3)地域とともに 市民、団体・サークルと連携・協働して実施している事業を紹介 - ア 公民館から紹介 「まちなか先生」、サークル公開講座「藍のたたき染めに挑戦！」 - イ 市民から紹介 やぎさわディスコ、人形劇フェスタ、サークル公開講座「陶芸体験教室」ヤギフェス vol.13 柳沢みんなの文化祭 (4)教養講座「脳の秘密」の紹介
団体・サークルの活動に関して	1 会員募集等への支援について 公民館だより（会員募集、催し物案内）、チラシの配架・ポスターの掲示、サークル紹介ファイル、伝言板 2 団体・サークルの情報交換 利用者懇談会参加者に情報提供を行いたい団体は、その内容を情報交換票に記入し提出。それを職員が読み上げた。催し物の案内を6団体が行った。
グループに分かれて懇談	5つのグループに分かれて、参加者、公運審委員、職員で懇談。 <1グループ>高齢化による会員の減少や部屋が取りにくい等、各サークルが困っていることを伝えあった。他自治体では有料化が進む中、無料で部屋を使用できることは活動への支援であるという意見が出された。活動を見学してもらっても構わない場合は、部屋の扉等に表示してはどうかという意見が出された。 <2グループ>会員募集の機会として、他館が実施しているサークル見学会があればという意見が出された。共通して、公民館だよりの充実を求める意見があった。 <3グループ>公民館の利用の仕方や活動形態が異なるサークル・団体が交流した。

	長年活動しているサークルの方もいれば、最近、発足したばかりのサークルの方もいた。 <4 グループ>地域でのボランティア活動、作品展の開催等も含めて、互いに活動を紹介しあって交流した。 <5 グループ>ロビー展示について、会員が高齢女性のサークルの場合、自分たちでパネルを設置するのは難しいという声があった。公民館を利用できる団体の要件の一つに会員の過半数が市内在住・在学・在勤者であることがある。このことについて、公民館は西東京市民のための施設なのだから、要件の市内在住者割合をもっと増やしてほしいという意見が出された。「今日、利用者懇談会に参加して、公民館は単なる貸館ではないことがわかった。このような機会をもっと設けてほしい」という感想があった。 <6 グループ>「職員が勤務していない土日曜日も、空いていれば予約なしで印刷機を利用できるようになるとよい」「ロビーコンサートを復活させてほしい」という要望や、「無料で部屋を利用できることに感謝している」という意見が出された。また、「愛称をつける」「月1回、公民館の日を設けて、何かアピールを行ってはどうか」「市内の中学校・高校の吹奏楽部のコンサートを開くなどして子どもたちに公民館の存在を知ってもらい、その後の利用につなげてはどうか」等、市民に公民館のことを知らせるアイデアを出し合った <7 グループ>職員の声かけがきっかけで、最近、サークル活動や公民館主催事業への参加等の公民館活動を始めた方の体験を聞いた。また、利用者懇談会に参加して、「改めて、人と人がつながっていくところが公民館であると感じた」「公民館は市民活動の拠点だと感じた」という感想が出された。
メッセージカードから (感想、公民館への意見・要望等)	・シルバーの方々へのイベントをもう少し増やしていただければと思いました。 ・公民館をベースにした活動内容をあらためて知る機会となった。特に印象的だったのは、様々な活動の中で、地域住民、ボランティアが相互に協力、関係性を深めていく点でした。 ・定年退職というと男性のこととイメージされていることが多いと思うが、均等法第一世代の女性たちが退職の時期になり、定年後の過ごし方や目標の見つけ方などに悩んでいる人たちがいると思う。女性が気軽に情報交換できる場があればと思う。 ・各団体・サークル同士の懇談、公民館への要望・質問に時間を使っていただけたらと思います。
印象、反省点	・コロナ禍での開催以降、参加団体間の情報交換の時間を設け、制限解除後はグループに分かれて懇談する時間を再開するなど、公民館で活動する団体相互の交流に重きをおいて、利用者懇談会を運営してきた。しかし、今回は、9月開催の利用者懇談会は来年度事業について市民の意見・要望を聞く機会であること、西東京市公民館がどのような方針のもと、事業を展開していこうとしているのか、市民に伝え、意見を聴く唯一の機会であることから、参加者に、サークル活動の場以外の機能について知っていただく機会としたいと考えた。その結果、大半が参加者が話を聞く時間となってしまう、グループに分かれて、公運審委員、市民、職員が懇談し交流する時間は確保できたが、当初、予

	定していた全体で意見交換する時間を省略することになってしまった。反省点である。 ・単なる知識や情報としてではなく、公民館で活動する市民の実感につながるように「公民館はどういうところか」を伝えること、参加者同士が交流すること、公運審委員・市民・職員の三者が交流することの３点を大切にした運営を考える必要がある。 ・現在は、公運審と職員で事業方針を考えている。いずれ市民と一緒に事業方針を考える場を設けること、そこに向けて、利用者懇談会を活用することが課題であると考え。
配布資料	1 参加票 2 アンケート（団体・サークル情報交換） 1 3 メッセージカード 2 4 次第 5 公民館からのお知らせ 6 備品使用申請書兼借用書 7 災害が発生したら／柳沢公民館・柳沢図書館避難経路 8 西東京市公民館だより第１９２号（２０１７年５月１日号） 9 公運審紹介 10 令和６年度西東京市公民館事業計画抜粋 11 令和６年度柳沢公民館主催事業 12 教養講座案内

利用者懇談会報告(令和6年度9月)

【田無公民館】

開催日時	令和6年9月7日(土) 10時～11時50分
会 場	田無公民館1階ロビー
参加者数	37団体、35人 公民館運営審議会委員1人 職員7人(公民館長、分館長、係員1人、公民館専門員4人)
今回のねらい	1 公民館から利用者の皆さんに報告を行う場 2 利用者と公民館や利用者同士の意見交換の場 3 両者を含めた地域の課題解決の話し合いの場 利用者懇談会は、社会教育活動の中でも大切な機会であり、利用者の皆さんと出会える最も重要な機会として、有意義な会にしたいと考えている。
次 第 (形 態)	1 館長挨拶、職員紹介、公民館からのお知らせなど 2 中学生SDGsサポーター石神井川ごみ拾い清掃活動報告と協力をお願い 3 火災時の避難経路、3階ベランダから1階へ脱出する救助袋の使用方法など 4 公民館運営審議会委員の挨拶と活動報告等 5 サークル見学月間や曜日別活動サークル1日ロビー見学体験会から入会につながった等体験談の共有 6 11月サークル見学月間と、曜日別活動サークル1日ロビー見学体験会等の日程 7 曜日別サークル交流 8 質疑応答 9 その他
公民館からの 連絡事項等	・10月20日(日)石神井川ごみ拾い清掃活動の協力をお願い ・火災時の避難経路、3階ベランダから1階へ脱出する救助袋の使用方法など ・10月開催の防災講座・防災訓練の案内 ・11月サークル見学月間や曜日別活動サークル1日ロビー見学体験会について ・視聴覚室のジュータンを汚さないよう配慮した利用の仕方をお願い ほか
主な意見等	■活動曜日別テーブルトーク交流 ＜月曜・日曜・不定期サークル＞ ・田無公民館の保育付き食育講座から立ち上がったサークルで、保育付きで第1第3月曜に子どもが食べられる食事を作るなどゆる～く活動している。 ＜火曜サークル＞ ・在留外国人にとって、日本語は、とても難しい言語と感じられるようだ。 ・他のサークルの活動を知れて良かった ＜水曜サークル＞ ・活動の情報収集ができる場であった。 ＜木曜サークル＞ ・他のサークルからの活動内容の紹介もあり、視聴覚室の部屋取りのライバルであることを忘れていられた良い機会であった。 ＜金曜サークル＞

	・他のサークルの活動内容を聞く良い機会であった。高齢化だが、頑張っていきたいと思う。 ・どのサークルも歴史が古く、活動歴は長いが高齢化とメンバー減少に悩んでいる。 <土曜サークル> ・多くのサークルがあることに驚き、メンバーの高齢化が進み、人数減少が共通の課題だった。 ■意見等 ・保育付きサークルで活動中だが、保育室も庭があり、子どもも楽しく保育室で過ごしている。 ・実習室の机がキャスター付きの折り畳み机になり、使い勝手が良くなった。
今回の運営の特色	・7月14日に開催したSDGs ロビーフェスタ田無の様子をビデオで紹介した。 ・田無公民館 SDGs サポーターの中学生から石神井川ごみ拾い活動報告と、10月20日(日)に中学生と今度は地域の大人たちとも一緒に石神井川ごみ拾いに取り組む予定なのでと参加の呼びかけを行った。 ・火災発生時に3階ベランダから救助袋を使用して1階外へ脱出する方法をビデオで紹介した。 ・避難経路図を見せながら各階ごとの避難経路の確認をした。 ・家庭での発災時避難用防災グッズの備えについて便利グッズ等の紹介をした。 ・10月の田無公民館主催防災講座と避難訓練の案内をした。 ・館長と高齢者支援課 meets 事業委託担当者から meets の案内も行った。 ・6月のサークル見学月間に参加して会員が、3人増えた団体、2人増えた団体、1人増えた団体から、見学会へ向けての広報の取組や当日の内容などを発表してもらった。 ・活動曜日別サークル交流の時間では、自己紹介・団体紹介・サークル活動でのお困りごとなどの情報交換等を行い、各グループで話し合われたことなどを発表してもらった。 ・公運審委員より公運審の紹介をしていただいた。
アンケートより	・防災についての情報が嬉しく、有難かった。 ・9/1 防災の日でしたが、我が家では何となく…で終わってしまいました。最低限の準備はしていますが、天災も多くいつ何が起きてもおかしくない！！今回の利用者懇談会で再確認できました。備えあれば、ですね。 ・石神井川のごみ拾い、3階からの脱出シュートからの脱出などの映像、思いがけず良かったです。特に「脱出」が怖くなかったとの体験談も良かったです。 ・定期的な懇談会で他曜日のサークルの活動の進展が分かり良かったです。中学生の参加報告も良かったです。 ・他の会の状況が分かり良かったです。 ・いろいろなサークルがあるなと思った。 ・他のサークルのお話が楽しいのでもう少し時間があれば嬉しく思いました。 ・木曜日サークルの他の活動を聴き、楽しい時間を過ごした。 ・勉強になりました。市のことを知ることができた。

	・他のサークルを知ることができ良かった。 ・歴史の長いサークルの方々のお話が聞けて貴重な時間でした。 ・4つのグループとの話し合いでしたが、子ども食堂の方のお話など具体的に伺えてよかったです。 ・充実していて、情報交換に有効だった。 ・各サークル真面目に、楽しく集っていると思います。 ・いろんなサークルの意見が伺えました。 ・他のサークルとの情報交換ができてとても有意義だった。 ・同じ曜日に公民館で活動している方々と初めてお話させていただき、とても楽しかったです。メンバーやサークル自体が減っていくという今どきの問題があるのかなと思いました。 ・土曜日のサークルの方々のお話も楽しく、興味のある内容でした。予約のことや各サークルの相談？も聴けました。 ・公民館利用者のお話が聞けて良かった。各種活動が多くあるのは驚いた。 ・懇談会、初めて参加しましたが多数のサークルが活動しているのに驚きました。 ・高齢化と会員の減少化で、多くのサークルが悩んでいるのが共通化している。 ・サークルの人数は多いが運営に関われる人が高齢化のため固定化して難しい。 ・部屋の取りにくさが課題。 ・高齢化が進んで委員が増えない。 ・入ってみたいサークルもあるけど、今している活動と時間帯がだぶるので難しい。 ・子育て世代であり、生活の変化で続けていくのが難しい。仕事をしているとなかなか続けられないので、メンバー募集もしにくい。どこまで誘っていいのか。 ・高齢化で、会員を増やしたいというのは共通の悩みだと感じました。
配付資料等	1 令和6年度9月田無公民館利用者懇談会次第 2 みんなで防災(小冊子) 3 6年度田無公民館 曜日別活動サークル1日ロビー見学体験会 日程一覧 4 11月はサークル見学月間参加団体申込書(＋金～月曜日別サークルロビー見学会申込書) 5 田無公民館令和6年6月サークル見学月間報告 6 SDGs ロビーフェスタ田無 2024 を開催しました 7 10月20日(日)中学生と一緒に石神井川ゴミ拾いボランティア参加者募集ちらし兼参加申込書 8 あなたのグループでも、年1回だけゴミ拾いして、生き物が暮らすきれいな石神井川を 9 田無公民館 階別 避難経路 10 防災講座チラシ 11 公運審紹介 12 本日の感想等アンケート

利用者懇談会報告(令和6年度9月)

【芝久保公民館】

開催日時	令和6年9月28日(土) 13時～15時30分
会 場	芝久保公民館 視聴覚室
参加者数	16団体、15人 公民館運営審議会委員1人、職員6人(館長、分館長、公民館専門員1人) 高齢者支援課職員1人
今回のねらい	・公民館施設や手続に関する連絡事項の伝達 ・下半期の主催事業や芝久保公民館まっりの案内 ・公民館ロビーでの発表、展示に関する情報提供 ・避難経路と発災時の対応についての周知
次 第 (形 態)	1 開会・館長挨拶・分館長挨拶・職員紹介 2 参加団体の確認 3 公民館からの報告とお知らせ (1) 公民館施設に関する連絡事項 (2) 下半期の主催事業について (3) 公民館運営審議会の紹介及び活動について (4) 第41回芝久保公民館まつり準備状況について (5) 公民館ロビーでの発表、展示について (6) その他 4 公民館へのご意見・ご要望 5 公民館活動中の発災時の対応について (1) 避難経路の確認 (2) 発災時の対応
公民館からの 連絡事項等	1 西東京市生涯現役応援サイト「ミーツ(meets)」について 担当課職員より紹介 ・50才以上の市民が登録できる。 ・ボランティア活動や働く所の支援など地域活動を見つけることができる。 ・サークルの会員を募集することができる。 2 公民館からの報告とお知らせ (1) 公民館施設に関する連絡事項について ・クールシェアスポット、クーリングシェルターについて 独居の人も増えており、電気代も高騰している中、涼を共有する場として、是非、公民館をご利用いただきたい。 ・自動販売機 東京都と協議した結果、規定上、設置は難しいとの回答があった。一方、給水機(冷水機)の設置について、マイボトルを持参して利用いただくことを検討中である。

	・ロビーの利用について 公衆無線 LAN が設置され、インターネット環境が整った。 ・公衆電話について 電話の利用率が低いため、N T T が撤去を予定している。緊急の時（救急車を呼ぶなど）は、事務室で対応することを考えている。 ・備品使用申請書 全館で様式を統一し、市ホームページからダウンロードできるようにする予定。 ・駐車場のポール 車が接触することがあり、危険なため、撤去する方向で検討している。 (2) 下半期の主催事業について ・11 月以降に 5 講座とサロンコンサートを予定している。 ・芝久保交流会は通年で活動している。 ・地域交流事業として、サークルや利用者の方々の協力を得ながら、芝久保公民館まつりとサークル見学体験会を実施する。 (3) 公民館運営審議会の紹介及び活動について 公運審委員が紹介。 公民館長の諮問機関として 14 名で構成され、事業評価や事業計画について審議、意見を述べる。公民館だより編集会議や東京都公民館連絡協議会委員会運営委員会へも参加している。地域の皆さんと職員の橋渡し役として、利用者の方の意見を吸い上げて反映させる。 公運審では、今後も公民館活動を活発にしていくために公民館サポーター制度を作り、実施する方向で調整しており、協力をお願いする。 (4) 第 41 回芝久保公民館まつり準備状況について 10 月 5 日の実行委員会で最終的な確認を行い、10 月 25 日に前日準備を予定している。ポスター、チラシによる広報及びまつり当日に向けたご協力をお願いする。 (5) 公民館ロビーでの発表、展示について 今年度はロビーで、産業振興課が所管する農産物の直売をしたほか、東京都と市が共催しているスマートフォン相談会が実施されている。今後も、発表や展示の場としてロビーを有効活用していきたい。
主な意見等	(利) FM西東京を見学したいが見学できるか。 (公) 今回の見学は難しい。毎月第 1 水曜日の午後 1 時～1 時 30 分に公民館情報を P R しており、再放送もある。 (利) 田無公民館の実習室の机が軽いものになった。芝久保公民館の創作室の机は重いので、軽い机に変えてほしい。また、創作室の椅子は重く、最後に利用したサークルが机の上に上げて帰ることが大変なため、改善してほしい。 (公) 利用しているサークルの方々のご意見を踏まえながら検討していきたい。椅子を上げることは改善する方向で調整を図る。

	※創作室を使っている他の団体のご意見 ・木工クラフトでは、電動のこぎりを使うので、重い机が良い。 ・絵を描く際に、机が揺るがないので今のままで良い。 (利) ロビーのあり方について、田無公民館ロビーは学習専用スペースがある。サークルは、ロビーを待ち合わせ場所になっている。長めのテーブルがあれば、少し打ち合わせできる。西東京市には公民館が6館あるので、ロビーの利用については同じような扱いにしてほしい。館長が先頭にたって、公民館のロビーのあり方を決めてほしい。 (公) アンケートをとるかどうか、検討する。 (利) 陶芸作品を乾燥させるため、一定期間置く際に、保管期間と団体名・氏名を書いた紙を作品の所に置くことになっている。期限を過ぎたものには公民館職員が注意喚起のため、赤紙を貼っていた。公民館の担当職員が変わっても同じ対応にしてほしい。記載する紙や鉛筆の準備もお願いしたい。 (公) 確認し対応させていただく。また、何かあれば、常日頃から言っていいただければと思う。 (利) 子ども専用自転車置き場に車を駐車する人がいたために、子ども用自転車置き場のポールが設置された。一般の自転車置き場に子ども用自転車も置けるのではないか。 (公) ポールを外すかどうかは館で検討する。 (利) 昨年度、落下防止のためタイルの壁面の修繕が行われた。予算や緊急性はあったと思うが、公民館という性格をもう少し考えてほしかった。公民館を設計した建築家は、文化施設であることを考慮し、装飾用のタイルを貼ったのではないかと思う。危ないからと言って、作った人の思いなど関係なく直したため、ただの壁になってしまった。公民館をどのような施設にして皆に提供したらよいかを、館長に考えてほしい。タイルを貼り直すのは、予算がかかり無理のなら、例えば子どもたちの絵の壁画とするなどの工夫をしてほしかった。 (公) 職 員：昨年度、谷戸公民館の壁面のタイルが落下したため、芝久保も検査したところ危ないことがわかり、いち早い安全確保の観点から、急遽壁面改修工事を行った。 ※《公民館の壁面に係る他のご意見》 ・今の壁面は無機質に感じる。各サークルの作品を飾るのはどうか。作品を作った人も励みになる。定期的に壁を飾ってほしい。「ギャラリー 田無公民館」はガラス張りなので見ることができ、ひばりが丘公民館はショーウィンドウになっている。芝久保公民館も工夫してくれると良い。 (利) 公民館が皆の居場所になるように工夫してほしい。防災備蓄に、毛布、トイレ、水の準備が必要。一時滞在施設なので、危機管理課と協力してほしい。公衆電話は撤去しないでほしい。高齢者は独居が多く。孤立している子どももいる。この地域では、市民、子どもの居場所はここだけ。公民館には頑張ってもらいたい。 (公) 防災備蓄は、行政だけでなく在宅避難に向けた各々の備えも大切なため協力を
--	--

	願います。公衆電話の撤去はNTTの事業として、法令等に基づくものであり、今後の対応については、適宜情報提供できればと考えている。公民館では、日々、利用者の声を大切にしており、より良いかたちで地域の方々に利用されるよう努めていく。
公民館活動中の発災時の対応について	地震発生時の初期対応について、当館は鉄筋コンクリート造であり、一般的には、耐震性に優れ、燃えにくく強度も下がらない。的確な情報の入手と提供を行うとともに、公民館、図書館で役割分担をして対応することとなっている。避難経路図は各部屋などに掲示しているため、今一度確認をお願いしたい。 公民館は、一時滞在施設の役割を担っており、帰宅困難者を受け入れる。危機管理課と連携しながら、災害に備え適切に対応していく。
参加者の感想等	・職員の親切な対応には感謝しています。公民館は、お年寄り、子どもの安らぎと交流の場に。 ・今日はありがとうございました。参加できて良かったです。 ・保育室裏の子ども用駐輪場は、あの狭いスペースに無理やり車を止める人がいました。他の車の出入りに支障があり、トラブルが絶えなかった。ポールを撤去した場合、トラブル復活の可能性あり。 ・創作室の椅子を上げるのは、床に落ちた粘土を陶芸サークルの人が踏み、その靴のまま館内を歩きまわって汚すので、最後にサークルの方が確認してもらうためだったと思う。
印象、反省点	・公民館からの説明を簡潔に行い、利用者のご意見、質問などの懇談の時間を確保するように努めた。 ・参加者から、施設の運用面、あり方や今後に期待することなどご意見をいただいた。いただいたご意見やご要望を関係者の意見などを確認しながら対応していく。 ・3月と比べ、参加者が少ない傾向にあるため、より多くの参加のための方策を考える必要がある。
配付資料等	1 芝久保公民館利用者懇談会次第 2 西東京市生涯現役応援サイト「ミーツ (meets)」 3 備品使用申請書兼借用書 (新様式) 4 令和6年度芝久保公民館下半期主催事業計画 5 公運審紹介 6 地震発生の場合の初期対応について 7 アンケート

利用者懇談会報告(令和6年度10月)

【谷戸公民館】

開催日時	令和6年10月5日(土)14時～15時30分
会 場	谷戸公民館 視聴覚室
参加者数	22団体 23人、 公民館運営審議会委員1人、職員6人(館長、分館長 公民館専門員4人)
今回のねらい	公民館から利用者に報告を行う場、利用者と公民館や利用者同士の意見交換の場、両者を含めた地域の課題解決の話し合いの場として社会教育活動の中でも大切な機会ととらえる。
次 第	1 館長挨拶 2 分館長及び職員紹介 3 公民館からのお知らせとお願いについて(谷戸公民館利用者懇談会事前アンケート集計結果など) 4 質疑応答 5 公民館運営審議会の紹介及び活動報告等について 6 参加団体の確認と参加者紹介(サークル名、活動日、参加者名) 7 公民館活動中の発災時の対応について(資料配布)
公民館側からの連絡事項等	1 館長挨拶 皆様からの意見をいただく重要な場。高齢者支援課 meets のお知らせ。 2 分館長及び職員紹介、警備員(3人中1人)・清掃職員(6人中2人) 3 公民館からのお知らせとお願い ①西東京市公民館の主催事業についての説明 ・公民館市民企画事業 ・公民館だよりの発行 ・まちなか先生について ②令和6年度前期主催講座の紹介 ③備品使用申請兼借用書について ・6館統一した申請書を作成。市ホームページからのダウンロード可。 ④ロビー公衆無線LANの設置についての説明 ・部屋での利用はモバイルWi-Fiを貸し出し ⑤災害時の帰宅困難者用備蓄品の整備について ・3日間の備蓄をするので、現在サークル活動のために備品を置いている団体は撤去をお願いしたい。 (分館長より) ⑥11月4日に谷戸公民館と図書館が40周年記念行事を行う。 ⑦来年度の谷戸まつりは4月26日(土)、27日(日)に開催。 ⑧団体登録の5年更新を忘れないように。 ⑨忘れ物のないようにお願いしたい。 ⑩無断キャンセルについて ⑪ 事前アンケートの集計結果から

	・アンケートにお答えしていただいた方の 95%からは使いやすい公民館であるとの評価をいただいた。集計結果は1階に掲示する予定。 4 公民館運営審議会委員の紹介及び活動報告について 公運審は市民と公民館の橋渡しだと考えている。皆様のご意見を吸い上げたい。 6 4つのグループに分かれて交流 活動日や活動内容などの情報交換を行って、活発な話し合いができた。 事後アンケートによると、今回は有意義な話し合いができたと回答した団体が多数あった。
質疑応答	(利用者／以下「利」) 大きな荷物(舞台)を今までどおり置いておくことはできないか。 (公民館／以下「公」) (利) 公共施設予約サービスの抽選申し込み可能な回数を4回から5回に増やしてほしい。また、区分を細分化して、使いやすくしてほしい。 (公) 現行システムの改修はできない。区分の細分化は今後の課題とする。 (利) 今回のアンケート結果をどのように活用していくのか。 (公) できるだけ皆さんに還元できる方向で検討したい。 (利) 部屋の予約がとりづらいので、公共施設予約サービスの実態調査をしてほしい。 (公) あきらかな不正利用などはシステムのアクセスログなどで確認ができる。
印象、反省点	前回同様、公民館側の対応の遅さ(特に、公共施設予約サービス)を参加者は感じたのではないかと。参加サークルのグループミーティングは活発な話し合いができて好評だった。
配布資料	1 次第 (資料1) 公民館からのお知らせとお願い等【裏面】 2 令和6年度西東京市公民館事業計画 抜粋 (資料2) 3 令和6年度 谷戸公民館主催事業 (資料3) 4 備品使用申請書兼借用書の変更について(資料4) 5 谷戸公民館利用者懇談会事前アンケート集計結果 6 公民館運営審議会について (資料5) 7 西東京市生涯現役応援サイト meets(ミーツ)について (資料6) 8 避難経路及びAEDの確認 (資料7) 9 利用者懇談会 アンケート

利用者懇談会報告(令和6年度 10 月)

【ひばりが丘公民館】

開催日時	令和6年10月5日(土) 10時～11時40分
会 場	ひばりが丘公民館 集会室
参加者数	19 団体、21 人 公民館運営審議会委員 2 人(社会教育関係団体、学識経験者) 職員 7 人(公民館長、係長、専門員 4 人、事務員 1 人)
今回のねらい	・参加者が社会教育機関としての公民館についての理解を深める機会とする。 ・参加者が公民館運営審議会に対する理解を深める機会とする。 ・市民と共同で実施している主催事業を紹介する。 ・公民館利用にかかる意見・要望を把握する。 ・来年度事業に対する意見・要望を把握する。 ・参加者、公運審委員、職員の三者が懇談し、交流する。
次 第	1 館長挨拶 2 職員紹介 3 公民館運営審議会から(活動報告等) 4 公民館からのお知らせ 5 公民館からのお願い 6 質疑応答 7 参加者の交流と話し合い
公民館運営審議会から	公運審委員(学識経験者)から、公民館運営審議会について紹介。 ・会議では公民館が考えたことについて意見を言ったり、経験を活かして皆さんと意見を交わし形にしていく。終わった活動や講座についても今後活かせるようにしている。 ・公民館があることの意味を大事にしていかななくてはいけないと思っている。皆さんにとって無料で使うのも当たり前かもしれないが、全国的には公民館が減少し、なおかつ有料化も進んできている。当たり前じゃなくなるかもしれないので、ぜひ公民館の大切さを今日のような会を通して考えていければと思う。
公民館利用等に関する公民館からのお知らせとお願い	・公衆無線 LAN の利用について 6 月初旬から、ロビーで公衆無線 LAN が利用できるようになった。 ・モバイル Wi-fi の貸し出しについて 備品として貸し出しを行っている。 ・多目的スペースの設置について 勉強、読書等で利用できるよう、スペースを設置している。 ・ロビーの活用について 暑い時期にはクールシェアスポットとして利用してほしい。なお、熱中症アラートが出た時にはクーリングシェルターになる。 ・ボードゲーム「カロム」の設置について ロビーで主に子どもたちが遊べるボードゲーム「カロム」を用意している。

	・ AED の設置場所について 緊急時に使用する AED の設置場所を、正面出入口の風除室に移動した。 ・ 自動販売機の設置について 東京都の許可が下りず、設置することが難しい状況。代わりに来年度から給水器を設置する計画。 ・ 防災備蓄品の受け入れについて ひばりが丘公民館は災害時の一時滞在施設に指定されており、市の危機管理課から委託された防災備蓄品を保管することになった。来年度以降の利用団体の物品のお預かりについては、各公民館と利用団体が話し合っていくこととする。 ・ ひばりが丘図書館に設置の公民館用お知らせ掲示板について 昨年 の 9 月 から入口のところにボードを 1 枚設置して、ひばりが丘公民館のお知らせを掲示している。会員募集など A4 サイズのポスターの掲示が可能。 ・ 部屋の利用開始時間について 終了時間前に原状復帰を行い、次の団体が開始時間に入室できるようご協力を。 ・ 部屋のキャンセルについて できるだけ多くの団体が活動できるよう、ご利用にならない部屋のキャンセルは早めに。 ・ 備品の使用について 申請書は全館統一した新しい様式に変更する。公民館の備品を破損した場合、必ず事務所へご連絡を。 ・ 選挙の投票所に指定されている。 10 月 27 日(日)衆議院選挙の投票所となります。前日午後 2 以降と当日の全日は、集会室と講座室 1 が使用できなくなります。
質疑応答	(利) 備品の申請書に麻雀台が入っていないのはなぜか？自販機が設置できないのは非常に残念だが、給水機を置いてくれるのはありがたい。公運審が市民の声をどのように吸い上げているのかわからなかったが、これからサポーターとして関わられるなど建設的になっているのがすごくうれしい。 (公) 麻雀台は現在、公民館の備品ではなく、麻雀サークルが共有して使用するものとして、サークルの私物を倉庫で預かっている状況。来年度から防災備蓄品を置くことになったこともあり、全ての団体が公平に使う施設として、どのような形にするべきか今後一緒に考えていきたいと思っている。公民館は帰宅困難者のための一時滞在施設なので、停電になった時の発電機や最低限の水や、初期対応できるものを置く予定。 (利) 防災備蓄品は具体的にはどのぐらいの量が入るのか。公民館から聞いた話によると、倉庫の中も満杯になって事務室の中まであふれかえるというイメージ。各公民館も全部そういう形を取るということなのか。 (公) 所管の危機管理課が倉庫の面積を測ったりしながら 今計算しているところ。来年度以降、予算取りをしながら入れていく流れになっていて、各館のキャパシティがあるので、測りながら足りないものはまた本部の方から運んでくるよう

	だ。一時滞在施設なので、長くて3日間くらい過ごせる位の量が目安となる。館によってスペースが違い、3日間分全てを置くスペースはどの館にもないので、何を優先するかを検討し、置ける範囲で置いていくという流れになってくると思う。
参加者の交流と話し合い	参加者が4つのグループに分かれて、公運審委員や職員も入り懇談、情報交換を実施。 ・以前はひばりが丘フェスティバルにも人形劇で参加した文芸サークルから、コロナ流行を境に会員が減少し困っている。⇒Meets で作品を紹介したらどうかと提案あり。 ・公民館が使用できないときの活動場所として、ダンスサークルからは「きらっと」、合唱サークルは「イチョウ公園集会所」など、他の有料施設についての情報を交換した。公民館は無料で使えるのでありがたいという意見が出た。 ・サークル活動が高齢の会員の皆さんのかけがえのない居場所、コミュニティとなっているというエピソードが紹介された。 ・音楽サークル同士がコラボする話が持ち上がっているという報告あり。会員が少ないサークルだが、西東京市で活動する他のサークルと一緒にイベントを定期的に行っているという話も出た。 ・韓国の歴史に関して学びたいという要望があった。 ・保谷駅前公民館の音楽講座で知り合った方を通じて、ひばりが丘公民館で活動し、ひばフェスにも出演するサークルに加入した。新たな楽器に挑戦していて大変だが、楽しい。
印象、反省点	・今回新たな試みとして、グループに分かれて参加者、公運審委員、職員が懇談し、交流する時間を持った。今後、市民と一緒に地域課題を考えたり、公民館事業について話し合ったりする機会として、テーマや進行など工夫していきたい。 ・今回は麻雀サークルとの話し合いを懇談会後に別途で設けたため、質問や要望が偏ることなく、スムーズに進行できた。
配布資料	1 次第（公民館からのお知らせとお願い） 2 公民館運営審議会について 3 備品貸出等申請書兼借用書（令和6年12月から使用するもの） 4 meets リーフレット

利用者懇談会報告(令和6年度9月)

【保谷駅前公民館】

開催日時	令和6年9月7日(土) 14時～16時 25団体 22人 公民館運営審議会委員3人、職員6人(館長、分館長、公民館専門員4人)
会 場	保谷駅前公民館 集会室
今回のねらい	・利用者からの意見、要望を聞く。 ・利用者同士の交流を図る。 ・利用者と職員が懇談することで、更に利用しやすい公民館にする。 ・公民館の運営管理、備品設備状況の要望を聴取、改善方法を検討する。
次 第 (形 態)	【第1部】 1 当日資料の確認 2 職員紹介と公民館運営審議会委員の紹介 3 第15回駅前フェスタについて 4 事前アンケートについて 【第2部】 グループに分かれて交流
公民館からの連絡事項等	1 4階ロビーへの公衆無線LANの設置について 2 モバイルWi-Fiの貸し出しについて 3 災害用備蓄品について 保谷駅前公民館は災害時に帰宅困難者の一時滞在施設となるため、備蓄品を置く予定。 4 公民館運営審議会について 公運審委員より、資料「公運審紹介」に基づいて活動を紹介。公民館サポーターの提案があった。 5 実行委員より、第15回駅前フェスタについて紹介。 6 事前アンケートについて 要望等に対する回答については、利用者懇談会ニュースNo2に掲載した。
質疑応答	(利) ロビーの公共施設予約サービスの端末がうまく作動しないことがあった。 (公) 現在は普通に作動している。 (利) 団体連絡箱を複数の会員で使用したいが、鍵の管理はどうすればよいか。 (公) 鍵は事務室に預けることができる。公民館事務室で団体名とロッカーの番号を言っていただければ、お渡しする。 (利) 部屋が空いている場合の当日使用申請を職員が勤務していない休日等も受け付けて欲しい。 (公) 公民館登録団体であることの確認を伴うので、職員がいない時間の申請の受付は難しい。

	(利) ピアノを移動させたいが、出来ない理由は何か？ (公) ピアノを移動させると音がくるってしまうことがあるため移動は難しい。
第2部	< Aグループ> (音楽関係) やりたい講座は「作詞、作曲講座」「アレンジ講座」などです。 < Bグループ> (健康、運動、美術、手工芸など) ・「金つぎ」の講座をしてみたい。 ・ひとつの部屋を複数のサークルで使いたい。 ・会員の高齢化により、サークルの存続が危ぶまれている。 < Cグループ> (福祉、社会活動、生協活動など) ・「おいしい防災食をつくる講座」、「折紙講座」をしてみたい。 【館長より総評】 公民館は単なる貸館ではなく、主催事業を行っている。みなさんと一緒につくっていくのが公民館。みなさんの意見を大切にしていきたい。
アンケートより	【アンケート集計結果】 ・回収数 21 1 利用者懇談会に参加した回数 ・今回初めて 11 ・1回：1 ・2回：3 ・4回以上：6 2. 利用者懇談会に出席してみたの評価 ・満足：15 ・普通：4 ※未記入：2 【感想】 ・ご意見に耳をかたむけ感心しました。 ・多くの団体が様々な活動をしているのを知れて良かったです。 ・活動内容が良く分かりました。 ・いろいろな利用者の方と交流できた。 ・皆さんのお話が聞けたこと。とても参考になりました。もう少し話を聞きたかったです。 ・参考になりました。 ・公民館利用に必要な情報を得ることが出来ました。 ・A、B、Cそれぞれの中での交流を設けて下さったのは良いのですが、Aの人がB、Cにも興味があったり、Cの人がB、Aにも興味があったりもすると思うのです。ですから、A、B、C混じっての交流の時間も欲しいです。 ・テーマが明確にされていて話が進んだ。 ・このようにグループ毎に共通の話題で意見交換出来て大変良かった。本日は出席予定者の

代理出席しましたが、出席できて良かった。

- ・保谷駅前公民館で初めて、暖かい交流の場を持つことができたように感じた。
- ・色んな趣味を私と同じようにいきいきとやられている方からパワーをいただきました。
- ・公民館を利用される方との交流ができて楽しかったです。
- ・いろいろな年代の方が、それぞれのサークルにいそしんでいる御様子がよく分かりました。
- ・展示だけで使用することしかやっていなかったのもので、他の分野の人たちの話が聞けて勉強になりました。もっともっと公民館を使いたいと思いました。
- ・皆様のご意見楽しく聞かせていただきました。
- ・グループによる交流はとても良かったと思います。もう少し時間が欲しかった。
- ・色々なお話が聞けて楽しかったです。
- ・他のサークルの活動の様子を聞けて有意義でした。
- ・いろいろなサークルの方のお話が聞けて有意義でした。
- ・多彩な活動がありますね。

【公民館への要望・意見】

- ・社会問題について市民が無料で勉強できる唯一の公共の機関です。防災、環境、平和、障がい者、子どもの貧困、虐待、不登校の問題いつでもどこでも続けて実施してほしいです。市民の学ぶ権利を保障してくれるのは公民館です。
- ・3ヶ月前に予約できるようにしてほしい。場所が決まらないと入稿に間に合わないので広報誌に載せることが困難なため。
- ・集会室が思うようにとれない。
- ・今回グループに分かれて団体紹介があり、嬉しく思います。第3学習室に急須を配置してくださってありがとうございます。
- ・当日の利用サークルは分かりますが、当月の利用サークル、翌月の利用サークルの発表はありますか？
- ・いつも利用させていただきましてありがとうございます。無料で使えること感謝しております。
- ・案内のニュースを作る関係で3ヶ月前に予約できると助かります。ご検討よろしく願います。
- ・常日頃のお世話を感謝しています。
- ・ピアノの移動が出来れば大変都合がよいので、出来れば柳沢のように出来るよう希望します。
- ・今回のように利用懇を大切にしていける事が大切だと思う。
- ・とても楽しく利用させてもらっています。無料がとても素晴らしいことだと思います。我々利用者もできるだけの協力をします。ぜひこれからも継続していただきたいです。
- ・対応が親切で、警備の方も良くしてくださり満足しております。キャンセル等での空き部屋を、その場の申請で利用できるようにしていただけるとありがたいです。
- ・公民館の利用もう少し希望通りできれば良いかと。
- ・予約のとりにくい公民館なので、同じような内容のサークルであれば代表が連絡を取り合いシェアして使っても良いのでは・・・。

	・無料で使わせていただけてとても感謝しております。 ・いつもお世話になりありがとうございます。楽しく活動できるのも公民館の皆様のお陰様と感謝しております。 ・西東京市民と練馬区民の割合が、人数の減少で逆転しそうで困っています。やはり、そこは変えられないのでしょうか？ ・気持ち良く使用出来て助かっています。 【利用者懇談会で扱ってほしいことな】 ・他団体と交流できる活動を考えたいと思います。プロの方が多いので、講師として参加していただけたら嬉しいです。 ・次回も参加したい。 ・今回、思いがけない楽しいテーマで交流しました。とても良い企画だと思います。 ・またこのような形で話し合いが出来たら良いと思います。
印象、 反省点	・思っていたより参加者が多かった。 ・第1部の質疑応答、第2部のグループに分かれての話し合いは、共に積極的な発言が多かった。 ・事前に保谷駅前公民館独自のアンケート調査を行い、「利用者懇談会ニュース」を2回発行したが、その成果はあったように感じた。
配付資料	1 次第 2 利用者懇談会ニュース No 2 3 備品使用申請書兼借用書 4 公運審紹介 5 アンケート